

り、確かに以前は、当署員複数人により、各種会合等で防犯や交通事故抑止等を目指した寸劇を行っていましたが、御指摘のとおり、コロナの影響により、ここ数年は寸劇を取り止めていました。ただ前回、栗野委員からの御要望をいただいたことで、ちよらどコロナも5類へ移行したことで、当署員による寸劇が地域住民から一定の御評価をいただいているのであれば、是非再開しようとする前向きに検討を始めました。そういった経緯で、再開するに当たり、まずは委員の皆様に見ていただきたいということで、次回、年末辺りの第2回協議会での実演を目指し、現在、人員の選出や台本の作成等に取りかかっているところです。やるからには、これまで以上のものお見せできるように取り組んでまいりますので、楽しみにお待ちしております。

第3 その他

1 代表者会議報告

令和6年7月5日に開催された警察署協議会代表者会議に出席した委員から次のとおり結果報告があった。

と出席したほかの委員の意見として

- ・ 事件報道のテレビを見ていた子供から「警察官も悪いことするよね。」と言われ、返す言葉がなかった。
- ・ 将来のある若い警察官が一人もやめることなく、警察官の仕事に誇りを持ってほしいと思っている。
- ・ 若い警察官を守るための対策を幹部は執ってほしい。

等の意見が印象的だった。

委員自身の意見として

- ・ 問題や事件が起きたときは早めに対処してほしい。
- ・ 世間的には今回の事件で警察官のイメージが悪くなったが、ほかの警察官まで大きくくりでまともめられるのは違うと思う。
- ・ 私は地域の警察官によくしてもらいお世話になって助かっている。
- ・ 再発防止の案として、頑張っている警察官を守るための新しいマニュアルを作してほしい。
- ・ いろんな部署があるので、一年に1回でも適性検査をして、能力を発揮できる部署に異動させてあげることも警察官の意識を高めることになるのではないか。
- ・ 信頼回復策として、コロナ前のように地域を見回ってほしいこと。地域の方と会話を増やしてもっと接してほしいこと。

を伝えた。

警察署協議会は地域の意見を警察に橋渡しするもので、今までは協議会が決まっ
てから皆さんに意見を聞いていたが、会議（代表者会議）でいろんな方の意見を聞き、日頃から委員としての意識を持っていただければいけないと反省した。

2 能登半島震災被災地特別派遣職員による体験談発表

当署から石川県へ特別派遣された地域課員と交通課員による体験談を発表した。

3 速度取締り指針の説明

交通課長において阿久根警察署速度取締り指針について資料に基づき説明した。
指針に対する意見等はなし。

第4 警察活動の紹介

当署管内に居住し、本県警察嘱託警察犬指導手である竹原氏に依頼し、警察犬による追及、捜索訓練を紹介した。

備考